田舎モダン

開成町
kaisei town

議会だより

開成小・南小学校運動会

令和初の運動会　元気よく開催！

９月定例会議
No.199
令和元年11月１日発行

・平成30年度決算を慎重に審議　2～6
・町政を問う！一般質問に10名が登壇　7～12
・奈良県町村議会議長会が視察に来町　13
・いよいよ本格的に始動！委員会レポート　14

9月定例会議

どう使われたのか 平成30年度決算審議

人事案件

○固定資産評価審査委員の選任

・瀬戸　俊雄　氏（牛島）

固定資産評価審査委員のうち1名の任期が令和元年11月10日をもって満了となるため、引き続き同人を再任。

〈全員賛成で同意〉

補正予算

○令和元年度一般会計補正予算（第2号）

主な内容は、町村情報システム共同事業組合負担金として、令和2年6月から開始予定のマイナポータルを活用した母子保健情報の利活用に関するシステム改修費。

〈全員賛成〉

工事請負変更契約の締結

○平成30年度文命中学校空調設備設置工事

空調設備は、6月に試験稼働ができているが、将来の利活用に備え、トランスの電気容量300KVAから500KVAに増設するとともに、ブレーカーを設置し、体育館の受電容量を確保する改修を行うため。

質疑

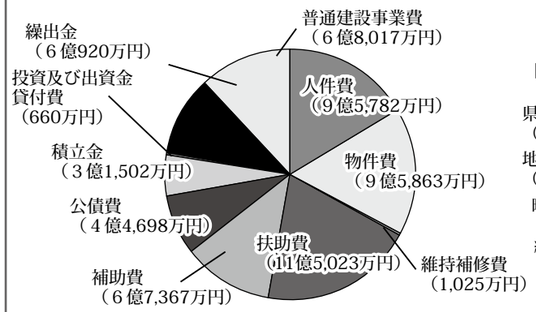
問　**将来の利活用の可能性は。**

答　昨今、異常気象が頻発している状態であるため、将来の需要が発生したときに二重投資にならないように進めていく。臨時的な事業の際にスポットクーラーをレンタルして置くといったことも今回の工事で可能になる。

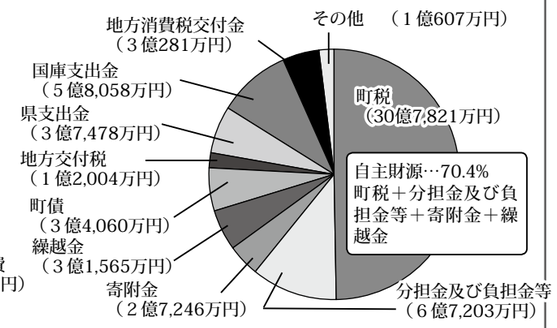
平成30年度歳入歳出決算額

一般会計決算額

歳出合計　58億858万円



歳入合計　61億6,322万円



特別会計・企業会計決算額

【単位：万円】

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険特別会計	175,873	171,313
下水道事業特別会計	57,025	49,746
介護保険事業特別会計	113,235	106,214
給食事業特別会計	8,754	8,690
後期高齢者医療事業特別会計	20,599	19,601
水道事業会計	32,237	45,105
総額	407,723	400,669

主な事業は次のページ、事業の成果に関する質疑はP4～5をチェック！

平成30年度 決算のここをチェック

平成30年度決算の中で、主な事業等を紹介します。

病児保育事業委託料　866万5千円

病児保育事業がスタート

子育て環境の更なる充実として、新たに、病気中で集団保育が困難な子どもを預かる病児保育事業を10月から開始しました。足柄上郡5町による広域連携事業として実施し、本町に開所された専用の保育ルームで受入れを行っています。

あしがり郷拠点整備事業費　5,707万7千円

駐車場拡大に向け

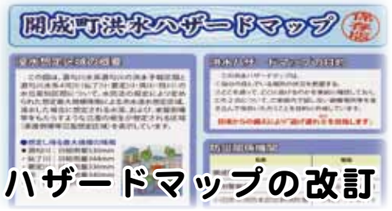
地域活性化拠点としての機能強化を図るため、敷地内に設置する交流拠点施設整備に向けた実施設計を行うとともに、駐車場拡大に向けた用地の買収を行いました。

小児医療費助成事業費　6,572万5千円

小児医療費助成対象の拡大

小児医療費については、平成30年9月診療分から通院分の助成対象年齢を「小学6年生まで」から「中学3年生まで」に拡大し、子育て世帯の経済的負担の更なる軽減を図りました。

洪水ハザードマップ作成委託料　149万5千円



ハザードマップの改訂

県が酒匂川、仙了川及び要定川の浸水想定区域の指定・公表を行ったことを受け、本町においては2月にハザードマップを改訂するとともに、実際に浸水害を想定した開成町浸水対応避難訓練を実施しました。

空調設備設置工事費　4,866万円

文命中にエアコン設置

文命中学校においては、近年の猛暑から生徒の健康を守り、快適な学習環境を整備するため、普通教室、特別教室等に空調を設置する工事の実施設計を行い、令和元年の夏までに稼働できるよう環境整備をしました。

平成30年度 決算審議

質疑 Q&A

平成30年度の一般会計及び各特別会計、企業会計決算について、９月定例会議において審議を行いました。
審議は町政全般にわたり、数多くの質疑がありました。その中から、いくつかをお知らせします。

ブランディング事業 委託の成果は

問 開成町に住みたい、住み続けたい、訪れたいという意向を高めることを目的として、プロモーション活動を展開し、ブランディングを継続的に推進するため、デザイン会社にブランディング支援業務を委託したが、その成果は。

答 これまでになかった開成町の色や形を表現していただいたことによって、内外に開成町の魅力をアピールした。数値としては人口が増加していること、定住の意向が82・3％まで上昇していること、これまでと比較して観光バスの来町台数が約5倍になっている。

町のＰＲにかかせないあじさいちゃん

浸水想定箇所に水道資材置き場 そこで大丈夫なのか

問 平成30年度予算特別委員会の審査結果で、水道の資機材置き場は、酒匂川水系酒匂川洪水浸水想定区域であることから、浸水想定箇所の堤防強化の要望促進をされたいとしたが、その後の状況は。

答 他の資材置き場に分散することが可能で、内部で調整し、災害があった時には別の資材置き場で対応することを考えている。また、水道の資機材置き場の倉庫については、地盤面も高く盛り土をし、設定した。ただ、浸水の想定区域には変わりないので注意して対応していく。

台風19号で被害を受けた水辺スポーツ公園

病児保育 1年目の評価は

問 昨年10月から足柄上郡5町で実施した病児保育の評価は。

答 半年間実施し、5町で利用件数１１３件のうち、本町の利用者が約60％を占めている。
平均すると1日1件から2件であるが、初年度としては計画通りであり、今後も5町で連携を取りながら進めていきたい。

ふるさと納税返礼品の工夫は

問 新たな財源としてふるさと応援寄附金が大事な財源となっているが、返礼品の本町の現状は。

答 平成30年6月から見直し等を図り、特定目的型のロマンスカーを使って寄附を行ったところ、かなりの成果を上げることができた。
今後はこのような町の素材、資源を使っていきたい。

クラウドファンディングで生まれ変わるロンちゃん

インフルエンザ予防接種 自己負担金の現状は

問 インフルエンザの予防接種については、近隣の他町に比べて個人負担額が大きい。町民の健康維持増進としては、個人負担を減らしてもらいたいが町の考えは。

答 昨年度までは自己負担金1千700円だったが、今年度の予算では、1千500円の自己負担金で計上した。

浸水を想定した避難訓練 今後の方針は

問 ハザードマップの改定に伴い、浸水対応避難訓練を実施したが、今後の方針は。

答 訓練は今年2月に実施した。今後の方針として、間隔が空いてしまうと、町民の方の意識も薄れてしまうといけないので、定期的に防災訓練と浸水対応避難訓練を隔年にするなどを検討して実施していきたいと考えている。

毎年実施している防災訓練

感震ブレーカー設置事業 その後の事業展開は

問 感震ブレーカーの設置事業は自治会加入促進という観点から成果はあったのか。

答 昨年度は自治会に加入されている方を対象に事業展開をした。自治会に加入されている方には、防災部長さんをはじめとした自治会が感震ブレーカー設置等のサポートを行っている。
今年度はチラシ等を通して、自治会に加入すればサポートを受けられる等をＰＲし、自治会未加入者へ促進する。

感震ブレーカーを設置するための説明会

認知症患者が増加 その対策は

問 全国的に認知症患者が増えている中で、認知症の方、あるいは認知症の家族を抱えている方への支援体制は。

答 町では、初期の段階から支援チームをつくり、認知症の専門医・社会福祉士・保健師等がご本人及びご家族と面接をして、必要な場合には医療機関へつなげており、必要な対策等をともに考えていく支援をしている。
認知症においては、初期の段階でどのような支援ができるかが一番重要なことだと思うので、初期集中支援チームを置けるようになったのは非常に大きい成果だと思う。

令和元年開成町議会　９月定例会議議案審議結果

提出	議決日	議　案　名	審議結果	下山千津子	佐々木昇	武井正広	湯川洋治	茅沼隆文	星野洋一	井上三史	山本研一	石田史行	井上慎司	前田せつよ
町長	9/4	固定資産評価審査委員会委員の選任について（◆委員のうち１名の任期が令和元年11月10日をもって満了となるため、引き続き同人を再任）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		開成町印鑑条例の一部を改正する条例を制定することについて（◆コンビニエンスストア等での印鑑登録証明書交付サービスの開始、住民基本台帳法施行令等の一部改正に伴う旧氏の記載、性別に関する記載の削除等）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		開成町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて（◆地域別最低賃金の改定に伴い、徴収嘱託員の報酬のうち時間額を改定）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		開成町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて（◆幼児教育・保育の無償化のための子ども・子育て支援法の一部改正及び内閣府令の一部改正に伴う副食費等の改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		開成町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて（◆家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、代替保育の提供に係る連携施設の確保の特例等を定めるため）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		開成町消防団条例の一部を改正する条例を制定することについて（◆成年被後見人の権利の制限に係る措置の適正化を図るための関係法令の整備に関する法律の制定に伴い、消防団員の欠格条項から成年被後見人、被保佐人を削る）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負変更契約の締結について（平成30年度文命中学校空調設備設置工事）（◆将来的利活用に備え、トランスの電気容量を300ＫＶＡから500ＫＶＡに増設するとともにブレーカーを設置し、体育館の受電容量を確保する改修を行うため）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9/12	決算認定について（一般会計）	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		決算認定について（国民健康保険特別会計）	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		決算認定について（下水道事業特別会計）	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		決算認定について（介護保険事業特別会計）	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		決算認定について（給食事業特別会計）	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		決算認定について（後期高齢者医療事業特別会計）	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		決算認定について（水道事業会計）	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		平成30年度開成町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		令和元年度開成町一般会計補正予算（第２号）について（◆主に子どものための教育・保育給付費交付金やプレミアム付商品券事業費など）	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		令和元年度開成町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）について（◆平成30年度の決算が確定したことによる繰越金の補正）	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		令和元年度開成町介護保険事業特別会計補正予算（第１号）について（◆主に介護給付費交付金や町村情報システム負担金など）	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		令和元年度開成町給食事業特別会計補正予算（第１号）について（◆平成30年度の決算の確定による繰越金の補正など）	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		令和元年度開成町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第１号）について（◆主に後期高齢者医療広域連合負担金など）	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		令和元年度開成町下水道事業会計補正予算（第１号）について(◆平成30年度下水道事業特別会計の決算確定により特例的収入･支出を補正）	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○

◆議案の要約　※吉田敏郎議長は採決に加わらない。　○は賛成した者　●は賛成しなかった者　「除」は除斥　「欠」は欠席

町政を問う
一般質問

※一般質問：議員が町の行政について質疑し、町側に答弁を求めるものです。

※ 質問者本人の原稿を、広報分科会委員が議事録に基づき校正しています。

教育のまち「開成」におけるプログラミング教育と英語教育について問う

武井　正広
議員

来年度から小学校、再来年度から中学校の学習指導要領が改訂され全面実施される。特に注目されているのがプログラミング教育と英語教育である。

問　プログラミング教育に向けた準備状況は。

答　開成小では教務用パソコン更新の際にプログラム教材を導入した。あじさい塾においても5月にプログラミングをテーマに小学生向け講座を初めて実施し、定員の2倍の申込みがあった。

問　大和市では、今年度から市内全ての小・中学校で寺子屋プログラミング教育を、年に12回、放課後、各学校のパソコン教室を民間支援員で実施しているが、本町では。

答　コンピュータを介在した客観的な合理的な事を特色とすることも一つだが、開成町のように人と人とが直に繋がり豊かな心を築いていくことも一つの特色である。

問　学校でのコンピュータ1台当たり児童・生徒数のデータがあるが、全国平均5．9人、開成町11．5人、松田町ほぼ一人一台である。積極的に取り組んでは。

答　台数が少なくてもやるべき事は小、中学校ではやっている。一概に台数で比較するのはいかがなものか。

問　町長は所信表明で英語教育の充実に向けた英語との触れ合いの場づくりと話されたが具体的には。

答　大学の留学生等と接する事を幼稚園から増やしていくこと。更に充実させていきたい。

問　町長の意向が町全体の教育に大きな影響を与える。開成町の子ども達の為に、英語教育やプログラミング教育を前面に押し出した特色ある教育のまち「開成」として取り組んでは。

答　この二つは大変重要な事だが、さらに地域の人達の力を借りて子ども達に力をつけさせたい。

行政改革の取り組みを問う

石田　史行　議員

本町は、現在は県内市町村の中で人口増加率と人口に占める若い世代の割合が最も高いが、人口増も今後10年以内には頭打ちとなる。税収の大幅増が見込めない中で、社会保障関係費や公共施設の維持管理費など経費の増加が見込まれる。

問　コスト意識を持った行政運営に努めつつ、行政コストをいかに減らすかが行革の目的である。今回の取り組み項目にペーパーレス化の推進が載ってない。

答　既に行政改革大綱に位置づけがあるので、具体的なものが明確になった時点で、今後取り組み項目の中に表示をしていく。

問　キエーロ設置補助事業の見直しについて、設置基数が現在１００基を超えた程度で町民への普及率は２％を切っている。どの程度のごみの資源化、減量化が図られているのか。

答　８年間、補助事業を続けてきてごみの減量化にどれだけ効果があったかと問われれば、微々たるものであったと認めざるを得ない。今後については、行政改革大綱でも廃止を打ち出しており、別の視点から考えていく必要がある。

問　小田原市が積極的に推進している段ボールコンポストは、お金をかけずに段ボールがあれば自分の家の生ごみを堆肥化できる。キエーロは早目にやめて段ボールコンポストの普及にかじを切られてはどうか。

答　補助金投入を別にして考えると、段ボールコンポストも有効な手段と考える。

問　水道事業運営協議会からの答申に沿って次回の水道料金の改定のときに給水装置開始・中止手数料を廃止するという認識でよいか。

答　水道運営の状況の中で廃止が可能であれば、水道料金改定の時期にとらわれずに手数料の廃止もあり得る。

小田原市の段ボールコンポスト
（小田原市HPから）

町道の維持及び整備の見解は

佐々木　昇　議員

本町では、平成26年度から30年度まで5年間の計画で道路舗装維持修繕を実施した。しかし、計画どおり進まなかったのが現実である。

この結果を踏まえて、今後、どのように維持修繕事業へ取り組んでいくのか、また、その他、道路舗装以外にも整備が必要な道路があると考える。

問　町道舗装維持整備計画の検証と今後の計画は。

答　整備に当たって基本的に国庫補助の活用を見込んでいたが補助の内示率が低く、計画どおり整備が進められなかったことによるものである。整備ができなかった路線は、改めて状況を確認しつつ、第五次総合計画後期基本計画に位置付けをしており、令和６年度までには全ての路線を整備する予定である。

問　２０１号線の東側にある歩道インターロッキングの劣化が目立つ。また、路側帯の際が急に斜面になっている所も見受けられる。早急に対応してもらいたいが。

答　順次、整備計画の中で優先順位を考えながら効果的な整備を考えていきたい。

問　延沢横断歩道橋の対応策は。

答　現状、児童や近隣住民の方に利用いただいているので、引き続き点検を行い、安全性に問題がない限り共用を継続していく。ただ、撤去する方針に変わりはないため、今後の点検結果で機能に支障を生ずる可能性がある場合は、開成小学校や地元自治会と調整の上、歩道橋の撤去を進める考えである。

問　延沢横断歩道橋の塗装を行ってもらいたいが。

答　現地を見てきた。大分、ささくれが出ているので、児童の安全性を最優先にしていきたい。一方で既に撤去の方針が固まっているので、予算は最小限にとどめたいことを踏まえて対応していきたい。

町道201号線（旧道）

がん対策をさらに充実させるために

小児がんの中に、「網膜芽細胞腫」という眼のがんがある。このがんの発症は2歳未満とされ、5歳までに95％が診断され、腫瘍が眼球に止まっている場合は眼球を摘出せずに、可能な限り残す治療ができるため、早期発見が非常に重要と言われている。

また、男性特有のがんである「前立腺がん」は、年齢の上昇とともに発生数が多くなり、50歳を超えたころから増加し、今後も増えると推測されている。

問　乳幼児にかかわる保護者等に向けた網膜芽細胞腫検診の啓発、乳幼児健診時に網膜芽細胞腫の検診を行うべきと考えるが。

答　乳幼児健診時に特別な検査を行う予定は現在ないが、家庭での発見と専門医への受診を促すために、保護者等への注意と啓発を行っていきたい。

問　京都市では網膜芽細胞腫についてホームページを開設している。取り入れる考えは。

答　ポスターなどの掲示について行うと答弁したが、ホームページについても、京都市のホームページは、確かに分かりやすい所もあるので、研究し進めていきたいと思う。

問　前立腺がんの近隣自治体の補助は、南足柄市は40歳以上を対象に自己負担1千円、松田町と山北町は、50歳以上を対象に５００円の自己負担で検診ができる。開成町は全額自己負担で２千１６０円である。全国的にも補助制度は広がっているが。

答　前立腺がんの検診は全国でかなりの自治体が行っていると把握しているが、国は推奨しにくいとの指針である。逆に、泌尿器科の学会では、死亡率が下がるというように、意見が相対しているので、市町村として積極的に進める状況には、まだないと判断している。

前田　せつよ　議員

本町における重要課題とその対応状況は

第五次開成町総合計画に掲げた諸施策は、本町の将来を見据えた重要な内容である。しかし、これらを具体的に進めていくに当たっては、さまざまな課題も山積していると考えられる。

問　本町における最も重要な課題は何と考え、その対応の状況は。

答　最も重要な課題としては、駅前通り線周辺地区土地区画整理事業が、期間的にも財政的にも庁舎建設後の一大重点事業と考えている。

問　駅前通り線周辺整備事業の第７回説明会が開催された。町長がなぜ出席をして自ら説明し、皆さんの生の声を聞かなかったのか。

答　どういう方向性で行くのだということは、幹部の中で、情報を共有しながら意思決定をして、方向性を決めて、指示をしていると認識をしている。

問　この事業は移転の補償などでかなりの費用がかかると思うが、駅前通り線周辺事業の今の試算ではどのぐらいの予算規模なのか、その出所はどのようになっているのか。

答　想定事業費としては約40億円かかるのではないかというところで概算を出している。事業費に対しての財源という部分は、都市計画道路等、重要な道路が含まれているので、国庫補助金の対象事業で、おおよそ4分の1程度が補助金の採択をされるのではないか考えている。

問　町民が豊かな生活をするために、どのようにしていくのか。

答　一番重要なのは、開成町に住む人たちに元気で暮らしてもらうことである。特に自治会活動が元気であることが一番大事であり、そういう意識の中で、この夏も各自治会の夏祭りを全部回った。

山本　研一　議員

駅前通り線予定地

地域資源を活用した地域ブランド化戦略を

湯川　洋治　議員

全国各地の市町村では、特色ある地域づくりを目指し、財政基盤の強化を進めている。伝統工芸品生産地など地域特性を生かした商品づくりや街づくりで地域ブランド化を確立し、地域の活性化を図る取り組みが盛んである。開成町においても地域ブランド化事業への取り組みを推進しており今後の取り組みやブランド化に向けた計画について問う。

問　地域ブランドの現状と課題について調査研究を行っているか。

答　開成町ブランド産品の新規認定については隔年で認定審査会を開いている。登録してから5年が経つブランド品については継続更新の手続きをとっているが再認定の認定基準等が未整備のため再認定制度について調査研究の必要がある。

問　ブランド商品開発に助成制度は。

答　五万円を上限に一回限り、認定した産品に対して補助を行った。認定審査で新規認定された場合補助をするということで継続の考えである。

問　本町単体でなく、足柄地域資源を組み合わせた特産品の開発を。

答　当初、開成町と南足柄市で実施していた事業をあしがら地域一市五町に拡大し、あしがら地域の名所を回遊でき地域の農業者や飲食店と連携した農産物の収穫体験や地元グルメを味わえる着地型観光ツアーを箱根町観光協会に事業委託し実施している。

問　足柄上地区の資源についてジビエを推奨したいが、町長は長野県へ視察に行ったと聞いた。開成町で加工処理施設の誘致は。

答　近隣の首長と視察へ行った。広域連携の中で、それぞれの町で対応でなく一緒に考えていくのは必要と思うが開成町で加工所の誘致は難しいと考えている。

あしがり郷交流拠点施設整備による観光地域づくりの推進状況を問う

星野　洋一　議員

「あしがり郷交流拠点事業」は北部の観光活性化の中心事業と考える。第五次開成町総合計画後期基本計画においても来園者数を２０１７年度に比べ、２０２４年度には約1.6倍の７万人を目標値としており、この事業による観光客数、交流人口の増加により北部地域の特産物販売等の農業の振興も期待できる。

問　現在、次期指定管理者の公募中であり、決定次第加工室及び販売室等の施設の具体的な管理運営方法について協議を進めるとのことだが、来年の２月のひな祭りまで近隣の農家の方と指定管理者との連携が短い時間でとれるのか。

答　12月に指定管理者が決まる予定である。北部地域の農家の方たちに具体的に心配がないように指定管理者に促していく。

問　近隣の農家の方はこの件についてほとんど情報を持ってない。農家の方との話し合いはされていないのか。

答　北部地域全体の話として、人・農地プランというものもある。そういう座談会等を開いた中でこの辺の話もしている。北部地域活性化推進協議会の中でも話はさせていただいている。知らない方がいるという声があるというお話なので、この辺はもう少し細かく詰めていきたい。

問　あしがり郷交流拠点施設周知及び観光誘致策は。

答　瀬戸屋敷の駐車場拡大により今まではできなかった大型バスの駐車ができるようになったことを生かし、観光ツアーの募集、特にここ数年多く集客しているツアー企画会社へのＰＲを図り、近隣の大井町のビオトピアや建設中の南足柄市の道の駅等との連携を図り、今まで以上に瀬戸屋敷をＰＲしていく。

「人にやさしいまちづくり」の推進を

下山　千津子　議員

２０１９年から第五次開成町総合計画後期基本計画に従い、様々な取り組みが進められている。しかし、町づくりの現場を見てみると急行が停まり、新庁舎建設が順調に進み変化こそあるが、もう少し町民の目線に立ち一工夫すれば、より施策が生きて、人にやさしい町づくりが展開できると考える。

駅周辺の安全面や環境面で課題や問題点も出てきている。駅利用者へのちょっとした工夫や心遣いが大切である。

問　駅西口前広場の花壇と噴水の現状は。

答　駅乗降口の花壇は、吉田島高校に年２回、花の植え替えをしてもらい、大変感謝している。噴水周辺や歩道部分等に多くの植栽帯を設けている。これについては年３回の除草や高木等の剪定を実施し、適切な維持管理に努めている。噴水は、朝７時から８時と17時から18時に稼働している。

問　駅前の噴水や花壇の課題は。

答　特に課題があるとは認識していない。

問　平成25年９月の同様な質問では、噴水は電気代がかかるので止めているとの答弁があり、大変残念に思った。噴水が止まっていたという町民の声も聴いているが、電気代はどのくらいかかるのか。

答　使用料は年間数万円である。

問　駅前の植栽帯は、雑草が伸び放題で適切に維持管理が出来ていない。駅周辺は町内企業の善意で美化活動が展開されている。企業や団体との協働による美化活動組織を作る考えは。

答　良好な状態に保つために、ご協力していただける方がいるなら組織を作ることを考えていきたい。

問　巡回バス停にベンチ設置の考えは。

答　バス停24ヶ所の内13ヵ所のバス停周辺に設置してある。

巡回バスのバス停

本町の小中学校における教育環境の現状と今後の展望を問う

井上　慎司　議員

一人ひとりが十分な教育を受けることがよりよい社会を築くことにつながる。

多様性を認め豊かな心を育み、独自の性格・個性・能力を持つ子どもたちの教育ニーズを理解し、子どもたちが日々接する教育環境の質の向上を図り、安全に健やかに学ぶ環境を整えることは町の責務である。

問　就学相談から中学校まで引継ぎ体制は整っているか。

答　子どもの成長に伴って情報が伝達されていく仕組みを構築している。

問　神奈川県教育委員会の個別支援シートを活用しているか。

答　大いに活用している。

問　民間との連携で支援シートの活用は。

答　民間という部分では見聞きしたことはない。

問　個別支援シートを活用して、障がいを持った子どもが就労する、社会に出るというころまで調査研究を進められるか。

答　中学校卒業後就労であればそのような体制は作らせたいと思う。

問　広域での機能を担っている言葉の教室のニーズ拡大に合わせ、教職員の配置は今後も適正に行われるか。

答　県に相当粘り強く要望を出していくが、非常に難しい。

問　着衣泳を取り組まなくなった経緯と今後の方針は。

答　施設等の関係、環境が整わない場合はやらなくてよい。今年度は日赤の方を招いて全学年講習を受けた。

問　文命中学校のプールを使っての着衣泳の取り組みの検討は。

答　検討していない。

問　開成小学校のグラウンド改修工事の内容は、白紙に戻っているのか。

答　白紙に戻り、具体的な位置付けは持っていない。

問　開成小学校は広域避難所であり、いつ災害が起きるかわからない。グラウンドの改修工事とあわせて、防災機能の強化を盛り込んではどうか。

答　一つの案として承る。

子どもたちにより良い教育環境を

公共交通の充実を問う

井上　三史　議員

急行が停車するようになり開成駅の利便性は格段に向上した。一方、後期高齢者の運転免許証の返納も増える傾向があり、町民の足となる公共交通の確保が重要である。足柄地域全体を見ると、人口減少の加速が懸念され、公共交通について近隣市町と連携して対策を考えたい。

問　急行がとまる前と後の駅前ロータリー交通利用状況の違いは。

答　西口駅前広場の機能向上を検討するための基礎データとして、また、今年度における現状の把握及び課題の整理を行うことなどを目的とした基礎調査業務委託の発注を進めている。この中で急行停車による駅利用者数の変化や交通量の現状について調査をしていく。

問　公共交通の充実の現況と課題は。

答　駅機能や駅周辺の都市機能の充実を図る必要性や和田河原・開成・大井線の足柄紫水大橋東側から国道255号線までの延伸が事業化されたことから開成駅を拠点とするバス路線の整備について近隣市町と連携して進める必要性がある。また、子どもや高齢者、障がい者が移動しやすい交通体系の構築が求められている。

問　公共交通の利便性の向上をどう図るのか。

答　誰もが移動しやすい公共交通体系を構築するため、バス路線の維持・確保を図ることや近隣市町との連携による広域的なバス路線の整備、開成駅を拠点とする新たなバス路線の整備について、バス事業者へ働きかけ、令和6年までの後期基本計画の計画期間において公共交通の利便性向上を図る。

開成駅西口の企業バス

視察来町

福島県南会津郡　只見町議会

本町議会の「議会の運営と課題等」、「逆質問権」、「日曜議会開催の効果」を視察するため、7月30日に福島県只見町議会が来町されました。

只見町は四方を緑の山々に囲まれ、福島県の西南にあり、西南部は新潟県に接しています。

町の中央に流れる伊南川や只見川の清らかな流れと、面積の94％を占める豊かな森林資源に恵まれ、国指定の豪雪地帯という厳しい自然環境から生まれる四季の美しい移り変わりが、緑と水の郷・只見の源となっています。

只見町のデータ

人　口	4,185人
面　積	747.56㎢
町の木	ブナ
町の花	コブシ

令和元年9月1日現在

当日は、①開成町議会における議員報酬と定数の考え方②日曜議会の実施方法について（周知の方法、開催日数、メリット・デメリットなど）③逆質問を付与している効果等を説明しました。

その後の質疑では、本町の人口が増えている中で、議会議員の定数を減らしてきた議論の過程や本町ではなり手不足の対策をしているか等の質問がありました。

また、只見町議会は休日議会を開催していないので、日曜議会についての質問を熱心にされていました。

只見町議会視察の様子

視察来町

奈良県町村議会　議長会

町議会の「議会改革の取り組みについて」と「タウンブランディングによる移住促進について」を視察するため、8月29日に奈良県町村議会議長会が来町され、各町村の議長をはじめ、各郡事務局長等の合計41名が来町されました。

当日は、前田副議長から本町議会のこれまでの取り組みを、企画政策課からタウンブランディングによる移住促進についての説明を行いました。

他の県の議長会が来町されるのは今回で2回目です。

説明後の質疑では、議会改革が進んでいることを評価していただきつつ、議会報告会の参加者を増やすための工夫や議会報告会で出てくる意見をどのように反映させているのか等がありました。

また、タウンブランディングによる移住促進についての質疑では、本町の人口が増え続けていることを挙げながら、町の三大祭りである開成町阿波おどりはどういう経緯で始めたのか、ブランディング事業、企業誘致等の質問がありました。

説明後の質疑の様子

北海道河東郡　鹿追町議会

本町議会の「広報紙の編集の取り組みについて」と「議会報告会の取り組みについて」を視察するため、9月25日に北海道河東郡鹿追町議会が来町されました。

鹿追町は、鹿追町は北海道の屋根といわれる大雪山系と日高山脈を境として、太平洋に広がる十勝平野の北西部に位置しています。

自然豊かな町で、然別湖やジオパークなどが観光名所です。

また、朝ドラ「なつぞら」の登場人物である山田天陽のモデルとなった画家・神田日勝の記念美術館があります。

鹿追町のデータ

人　口	5,374人
面　積	402.88㎢
町の木	モミジ
町の花	シャクナゲ

令和元年8月末現在

当日は、本町議会のこれまでの取り組みと、①議会報告会②議会だよりの編集方法、スケジュール、レイアウト、広告の掲載について説明をしました。

その後の質疑では、本町議会の取り組み全般について質問されていました。

主な内容は、日曜議会と議会報告会の参加者がなぜ多いのか、通年議会のメリット・デメリット、毎回の定例議会で多くの議員が一般質問している理由などの質問があり、本町議会の運営方法などを参考にしたいとのことでした。

鹿追町議会の皆様と

いよいよ本格的に始動！ 委員会レポート

議会で取り扱う問題は、数が多く、内容も幅広い分野にわたっています。そこで、これらをいくつかの部門に分けて、専門的、能率的に審査・調査するために「常任委員会」を設けています。

総務経済常任委員会

委員長　湯川　洋治

・公共用地の整備と今後の見通しについて

前回の議会だよりでは、調査目的を紹介しましたが、現在は本格的に調査研究を進めております。

8月20日の委員会では、担当課である財務課・街づくり推進課から説明聴取を行いました。

開成駅東口町有地は、現時点で売却をすることは考えられないが、管理に手間がかかり、できれば駐車場として委託できないかなどの意見がありました。

また、松ノ木河原多目的広場は、役場新庁舎建設後には防災倉庫としての案があり、あじさいまつりの時期では駐車場として利用し、現在は新庁舎建設に伴い、業者の駐車場として貸し出しているとのことでした。

委員間討議では、特に土地取得後25年以上が経過している開成駅東口町有地について、駅に近いという利点を考慮し、町は早急に活用方法を考えるべきなどの意見が出ました。

次回の委員会では、今後の方向性について議論していきます。

駅東口町有地

教育民生常任委員会

委員長　石田　史行

・図書室の現状と課題について

委員会では、10月4日の午前に南足柄市立図書館、午後に大磯町立図書館の現地視察を行いました。

南足柄市立図書館では、平成21年度に策定した南足柄市立図書館の基本方針に従い図書館の運営を進めており、年間利用者数や総蔵書数などの説明をいただき、図書館内を視察しました。

南足柄市立図書館視察の様子

大磯町立図書館では、幼児からお年寄りまであらゆる世代が豊かな心を養えるよう、興味や関心を満たす機会を提供する場とし、町民の学習活動の拠点となる町民書斎としての図書館を目指して、図書利用サービスの向上を推進するとともに、生涯学習の充実の向けた支援に努めるという基本方針に基づき、図書館の概要の説明をいただきました。

次回の委員会では、現地視察したことを踏まえて、担当課である教育総務課から意見聴取を行います。

大磯町立図書館視察の様子

議会の動き

8月

20日　●全員協議会
　　●総務経済常任委員会
26日　●議会運営委員会
29日　●奈良県町村議会議長会視察来町

9月

3日　●9月定例会議（～12日）
12日　●議会運営委員会
20日　●全員協議会
25日　●西部清掃組合議会定例会
　　●北海道鹿追町議会視察来町

10月

4日　●教育民生常任委員会
8日　●足柄上郡議長会定例会
9日　●広報分科会
10日　●広聴分科会
18日　●全員協議会
　　●総務経済常任委員会
　　●教育民生常任委員会
21日　●大井町議会視察来町
28日　●足柄上衛生組合議会定例会
29日　●足柄西部清掃組合視察
30日　●県外行政視察（30・31日）
　　（兵庫県たつの市・相生市）

今年度の視察予定地
兵庫県たつの市
「市民乗り合いタクシー運行事業について」
兵庫県相生市
「子育て応援施策 11の鍵について」

たつの市民乗り合いタクシー「あかねちゃん」

議会タブレット研修会を実施

9月20日に議会タブレット研修会を実施しました。

タブレットを導入する目的としては、事務効率の迅速化、印刷する経費や時間を削減するためのペーパーレス化などがあります。

タブレット端末には議案や予算書など膨大な情報を入れることができ、従来紙ベースで保存してきた文書の整理が迅速化されます。

タブレット研修の様子

実際にタブレットを使用して研修を行いました

さらにモノクロ印刷だった資料がカラーになったことで読みやすくなり、また、検索性にも優れているため、関係する資料を容易に取り出せるようになります。

●導入の主な目的
・紙の使用量の削減
・資料作成などの業務量の削減
・会議の質の向上（事前に会議の資料に目を通しやすくなる）

議会を傍聴しよう！

次回、12月3日(火)から　開会予定

傍聴の際は、住所、氏名、年齢（○歳代）を記入していただきます。
審議日程等は議会のホームページに掲載いたします。分からないことがありましたら、お気軽に議会事務局（0465-84-0323）までお問い合わせください。

各種団体の皆さん
議会と懇談会をしませんか！

開成町議会では、議会に対する要望の集約や議会活動の充実とご理解を図るため、町内の各種団体の皆様との懇談会を開催しています。この懇談会は随時受け付けています。開催日程、場所、懇談のテーマなどご相談させていただきますので、お気軽に議会事務局までご連絡ください。

議会と懇談会を希望される団体を随時募集しております！

編集後記

令和最初の夏は〝災害〟と言われたほどの猛暑でした。これから訪れる冬は、はたしてどのような気候なのでしょうか。

さて、議会だより№199号をお届けします。表紙は町の将来を担う子たちが元気な競技や演技を見せてくれた小学校の運動会です。

議会9月定例会議は、一般質問の他に平成最後となった30年度決算に関し、歳入歳出の状況や、第五次開成町総合計画前期基本計画のまとめの年度として、子どもたちがいつまでも住み続けたいと思える町づくりに向けた、様々な事業の取り組み結果についての認定を中心に行いました。

是非ご一読下さい。

（山本　研一）

広報分科会の様子

雨にも負けず！幼稚園運動会

議会のホームページはこちらからご覧ください。

開成町議会発行 編集／広報広聴常任委員会（広報分科会）

委員長　井上 三史　　委　員　佐々木 昇　　星野 洋一

副委員長　山本　研一　　武井 正広　　井上 慎司

議会だよりに掲載する広告を募集しています！

開成町議会では、町民サービスの向上と民間企業等との協働による地域の活性化を目指すことを目的に、議会だよりに掲載する有料広告を募集しています。

有料広告に関する掲載基準や申込書などは、議会ホームページに掲載しています。
（１枠につき１回5,000円※減免規定あり）

広　告

在宅・施設・介護者訪問美容サービス
在宅療養している方・施設に入所している方
パーマ・ヘアカラー・カット　ご相談ください

美容室 ハーティ

9：00～18：30　定休日／毎火曜日・第２，３月曜

開成町吉田島 1521-8（開成駅前）TEL83-5556

広　告

開成町議会発行　編集／広報広聴常任委員会（広報分科会）　〒258-8502　神奈川県足柄上郡開成町延沢773
TEL. 0465（84）0323　FAX. 0465（82）5234　メールアドレス gikaijimu@town.kaisei.kanagawa.jp